

EVENT SCHEDULE

ALL MAP



紹介した全スポットを掲載

12 December

第15回滋賀県施設・学校合同企画展ing... ～障害のある人の進行形～

ポータルレス・アートミュージアムNO-MAと、県内の福祉施設・特別支援学校の職員や地域の造形教室の講師が実行委員会を組織。障害のある人が制作した造形作品の展覧会を行う。

開催日 2018年12月1日(土)～2019年2月24日(日)
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)、2018年12月29日(土)～2019年1月4日(金)
開館時間 11:00～17:00
住所 ポータルレス・アートミュージアムNO-MA(近江八幡市永原町上16)
入館料 大人200(150)円、高大生150(100)円、中学生以下無料
※()内は20人以上の団体料金
TEL 0748-36-5018
WEB <http://www.no-ma.jp/>

びわ湖☆アートフェスティバル2018

県内のジュニアオーケストラとバレエの共演、滋賀県次世代文化賞受賞者によるピアノ・リサイタルなど様々な催しを開催。アートのワークショップやアートフリーマーケット等も開かれる。

開催日 2018年12月22日(土)
開演時間 11:00～18:00(大ホールのみ19:50終了予定)
住所 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 全館(大津市打出浜15-1)
参加料 大ホールオーケストラコンサートは入場無料、一部有料コンサートあり
TEL 077-523-7146
WEB <https://baf2018.com/>

びわ湖ホール ジルヴェスター・コンサート 2018-2019

1998年の開館以来、毎年開催されている年越しコンサート。楽しい音楽に加えて、抽選会など盛りだくさんの内容。新年を迎えるカウントダウンでは会場が最高潮の盛り上がり。

開催日 2018年12月31日(月)
開演時間 22:00～24:30
住所 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 大ホール(大津市打出浜15-1)
参加料 S席8,000(7,500)円、S席6,500(6,000)円、A席5,000(4,500)円、B席4,000円、C席3,000円、青少年(25歳未満)S～C席:1,500円
※()内は友の会会員料金
TEL 077-523-7136(びわ湖ホールチケットセンター)
WEB <https://www.biwako-hall.or.jp/>

1 January

特別陳列 「干支をめぐる文化財一戊から亥へ」



長浜市大宮寺大造胎犬(一対のうち彫形・室町時代)

「近江風土記の丘」にあり、弥生時代～古墳時代の生活様式を再現した展示などが見られる博物館。迎春企画として、干支にちなんだ県内の美術工芸品を紹介する展覧会を開催。

開催日 2018年12月11日(火)～2019年1月27日(日)
休館日 2018年12月17日(月)、25日(火)、28日(金)～2019年1月4日(金)、7日(月)、15日(火)、21日(月)
開館時間 9:00～17:00(受付～16:30)
住所 滋賀県立安土考古博物館 第2常設展示室内(近江八幡市安土町下豊浦6678)
入館料 大人450(360)円、高大生300(240)円、小学生、県内高齢者(65歳以上)、障害のある方は無料
※()内は20人以上の団体料金
TEL 0748-46-2424
WEB <http://www.azuchi-museum.or.jp/>

能公演「高砂」(たかさご)



ユネスコ世界無形文化遺産に登録されている能。今回上演される「高砂」は夫婦愛と長寿を愛で、この世で生きる喜びを表現した、新春にふさわしいめでたい演目のひとつ。

開催日 2019年1月5日(土)
開演時間 13:30開演、14:00開演、16:30終演
住所 大津市伝統芸能会館(大津市園城寺町246-24)
参加料 前売S席5,500円(当日6,000円)、前売A席5,000円(当日5,500円)
TEL 077-527-5236
WEB <http://www.dentogoinokaikan.net/>

芝居小屋「長栄座」新春公演



邦楽(和楽器)演奏家と声楽家が共演。新春らしい邦楽曲から「水源の里米原」をテーマにした新作の組曲まで、幅広い演目を映像とともに披露する。美しい調べに心が澄み渡る。

開催日 2019年1月20日(日)
開演時間 14:00～
住所 滋賀県立文化産業交流会館(米原市下多良2丁目137)
参加料 一般2,500円、25歳以下1,500円、当日各500円増
TEL 0749-52-5111
WEB <https://www.s-bunsan.jp/>

2 February

商家に伝わるひな人形めぐり



近江商人屋敷本宅で大切に保管されてきた、江戸時代から伝わる貴重な雛人形などを展示。全9会場で約110組の雛人形を見ることが出来、古くからの日本の伝統を垣間見れる。

開催日 2019年2月1日(金)～3月21日(木)
開催時間 近江商人屋敷4館 9:30～16:30(他、施設により異なる)
住所 五個荘金堂(東近江市五個荘地区)
入館料 必要(会場により異なる)
TEL 0748-29-3920(東近江市観光協会)
WEB <http://www.higashiomi.net/>

特別公開「雛と雛道具」



江戸時代に代々彦根を治めた井伊家の13代当主・直弼が愛娘である弥千代(1846～1927)のために作らせた雛人形と大揃いの雛道具を、地元の旧家に伝来した雛人形などとともに一挙公開。春の訪れを告げる恒例の展示。

開催日 2019年2月8日(金)～3月4日(月)
開催時間 8:30～17:00(受付～16:30)
住所 彦根城博物館(彦根市金龜町1-1)
入館料 一般300円、小学生150円
※館内設備改修工事のため、一部休室しています
TEL 0749-22-6100
WEB <http://hikone-castle-museum.jp/>

久末航ピアノ・リサイタル ソナタ第2番



2017年秋のミュンヘン国際コンクール第3位入賞。湖国から世界へ飛躍する俊英ピアニストがブラームスのピアノソナタ全曲に挑む。第2弾はブラームスのピアノ・ソナタ第2番など。

開催日 2019年2月23日(土)
開演時間 14:00～16:00
住所 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 小ホール(大津市打出浜15-1)
参加料 一般3,500円、学生(大学生以下)2,000円
TEL 077-526-0011
WEB <http://www.keibun.co.jp/>

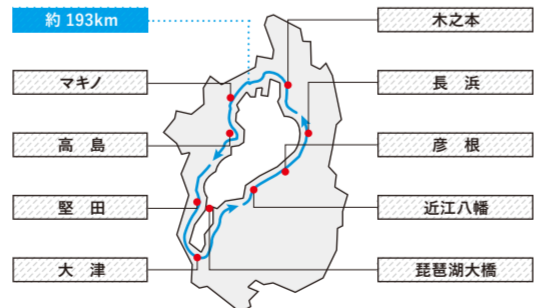
英語を話せるスタッフ

英語パンフレット

ビワイチ ～自転車で琵琶湖をめぐる～



滋賀県は自然が豊かで、山やまちにも歴史と文化の香りがたっぷり。街道や歴史遺産、紅葉などの絶景、サイクルトレインなど、ビワイチだけではない魅力を発見し、県内全域でサイクリングを楽しんでいただけるよう、テーマで巡る「ビワイチ・プラス」コースを提案しています。サイクリングで県内の豊かな自然や文化等の魅力に触れながら、琵琶湖沿いから離れて内陸部も巡ってみてください。



ビワイチ BEST SHOT!!



公益財団法人
びわこビジターズビューロー
<https://www.biwako-visitors.jp>



びわこ一周
レンタサイクル
<http://biwaichi-cycling.com>

F R E E 2018年12～2019年2月 vol.2

COOL SHIGA

CULTURAL INFORMATION GUIDE

TEMPLE
霊験あらたかな歴史ある寺

THE BUDDHIST IMAGES OF SHIGA
薬師如来や観音菩薩に注目

THE SYNCRETISM OF SHINTO AND BUDDHISM
神仏習合の痕跡が残る場所

LOCAL GUISINE / EVENT

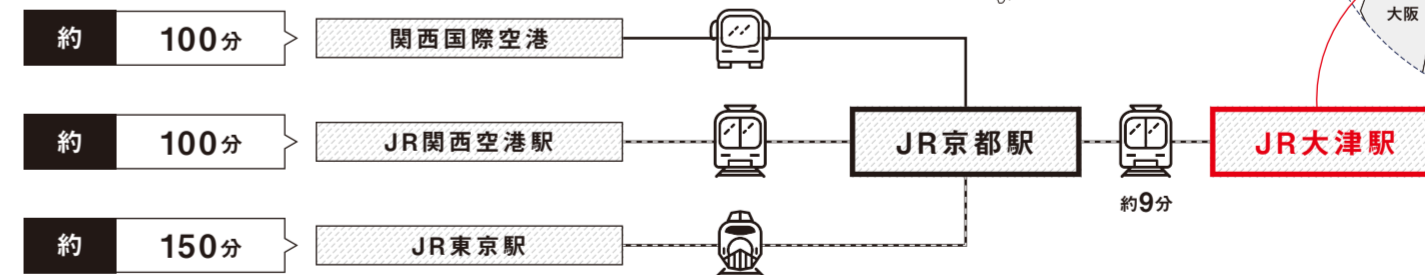
如意輪観音 / 石山寺

滋賀県について

日本列島のほぼ中央に位置し、日本最大の湖「琵琶湖」を有する滋賀県には、魅力溢れるエリアがたくさん。社寺や街道、歴史を伝える建物や街並を訪ねたり、古人の足跡をたどることで、多彩な文化を味わえます。また、豊かな水源と人の営みが調和した文化的景観や食文化が訪れるゲストを魅了します。まだ見ぬ滋賀県を発見しよう。



アクセス



近江のお茶 伝統を誇る日本茶業発祥の地

近江の茶の歴史は古く、805年、伝教大師最澄が唐より種子を持ち帰り、比叡山麓に播いたのが始まりといわれています。近江茶は、寒暖差が大きい気候で育てられた上質な香りが持ち味。摘み取り前の茶葉に覆いをかぶせて旨味を増し、渋みを抑える「かぶせ茶」で有名な「土山」、煎茶本来の山吹色美しい「朝宮」、秀吉が愛飲したと伝わる希少価値の高い「政所」といった特色豊かな茶所が点在しています。



TEMPLE

靈験あらたかな歴史ある寺 王朝文学ゆかりの花の寺



滋賀県には3千を超す寺院があります。なかでも琵琶湖から唯一外へ流れ出る瀬田川沿いの山門が参拝者を迎える「石山寺」は、聖武天皇(701-749)の時代に開創した歴史ある寺院です。平安時代には、貴族が訪れる石山詣が盛んになり、御本尊の如意輪観世音菩薩半跏像を安置する本堂で参籠したといえます。そのさまが記されたのが藤原道綱の母による『蜻蛉日記』。また和泉式部の『和泉式部日記』や清少納言の『枕草子』、菅原孝標女『更級日記』なども石山寺について記しています。有名なのは紫式部の『源氏物語』。珍しい物語を読みたいという皇女の命を受け、石山寺に7日間参籠をしていた紫式部。近江八景の一つ「石山の秋月」が象徴する月の名所ゆえに、ちょうど十五夜の月が琵琶湖に映える美しい夜に物語の構想が浮かび書き始めたといえます。さらに、一流女流作家たちも心惹かれた寺院は、花の名所でも知られます。2月は梅、3月は寒桜が咲き、日本では珍しい梅と桜を同時に見ることが出来ます。さらに染井吉野など桜が咲き、4月下旬から樹齢200年の霧島躑躅、初夏にはアヤマや蓮など、四季折々に楽しむことができます。

聖武天皇勅願の観音霊場「石山寺」

石山寺に残された文化財の一つに、創建から鎌倉時代末期までの歴史を調査と大和絵でしめた『石山寺縁起絵巻』があります。始まりは、石山寺の創建を知るストーリー。奈良の東大寺を建立した聖武天皇は、大仏を鑄造しますが大量の黄金が必要となり、僧の良弁に依頼しました。ある夜、良弁の枕元で蔵王権現が現れ、近江の国の勢多(瀬田)にある霊地で祈願するように告げられ向かいました。そこで出会ったのは、比良明神を名乗る老人。いわれたとおり霊地の岩に、聖武天皇から預かった聖徳太子の念持仏を安置して祈願すると間もなく、陸奥の国から黄金が見つかり献上されたといえます。そして、念持仏が岩から離れなかったので草庵を建てたことが石山寺の起こりです。今も境内にあるその岩が硯灰石。その上に国宝の本堂が建ちます。御本尊の如意輪観世音菩薩は、像高約5mあり巨大な厨子の中に納められた秘仏で、岩を台座に右足を曲げ左足を下げた半跏の姿をしています。日本唯一の勅封なので開帳には、天皇の許可が必要。33年に一度、または新天皇即位の翌年に開帳されるので近々見ることができそうです。ただ、その身代わりとして常に厨子の前に置かれている本尊御前立像も価値ある仏像。約3分の1サイズとはいえ御本尊と同じ形式で室町時代に造立されたお像です。2018年は、日本最古の巡礼路「西国三十三所」が草創1300年の記念イヤーで、2020年までは特別拝観などもあります。観音霊場を巡るその最初に石山寺から始めてみるのもいいかもしれません。

T E L 077-537-0013
住 所 大津市石山寺1-1-1
時 間 8:00~16:30(最終入山は~16:00)
定 休 日 無休
料 金 600円、本堂内陣500円、お茶席500円(特別展示は別途)
観音可寄 拝観
W E B https://www.ishiyamadera.or.jp/
無料Wi-Fi 英語パンフレット



石山寺境内図



石山寺縁起絵巻第5巻第1段(第4~5紙) 石山寺所蔵



1 硯灰石 2 多宝塔 3 紫式部像



「西野薬師堂」の伝薬師如来立像(平安時代) 「金勝寺」の木造單荼利明王立像(平安時代)は、単独で日本最古で最大の作例



「向源寺」の十一面観音菩薩立像(平安時代) 「浮御堂」にも秘仏本尊が安置される。重要文化財の木造聖観音菩薩座像(平安時代)

THE BUDDHIST IMAGES OF SHIGA

薬師如来や観音菩薩に注目

滋賀県に薬師如来を本尊とする寺院が多いのは「比叡山延暦寺」を模したからといわれます。なかでも古い形式の根本中堂を今に語るのが「善水寺」です。国宝の本堂はもちろん、秘仏の本尊も同じく根本中堂を模した薬師如来。また、「西野薬師堂(充滿寺)」の本尊もそのひとつ。平安時代以降は手に持つ薬壺が象徴的な薬師如来ですが、西野薬師堂の場合は手には何も持たず来迎印を結ぶので、後の時代には、阿弥陀如来としても信仰されたことが窺えます。また、薬師如来といえば病を治す仏と思われませんが、昔は五穀豊穡、怨霊退散などを願い造られたこともわかります。そもそも仏像には順位(格付け)があり、一番偉いのが悟りを開いた如来。次に、如来になるために修行をする菩薩がいます。滋賀県は観音菩薩も多数あり、日本彫刻史上の最高傑作といわれる「向源寺」の十一面観音菩薩立像は全国的に有名。戦乱の焼き討ちにあった際は、住職と村人たちが観音像を川底に沈めたり、地中に埋めたりして難を逃れ守ってきたと伝わり、住む人々と仏との距離が近かった滋賀県の特性を知ります。



湖南三山のひとつ「善水寺」の秘仏本尊、薬師如来坐像(平安時代)

関連スポット



大友の王子末裔の西野丹波守家澄が菩提寺として庇護した。かつて西野の西北にある小字寺山にあった天台宗の寺院。度重なる戦乱で荒廃したが、仏像は村人たちによって守られ、今は充滿寺の所蔵として薬師堂に安置する。

通称、渡岸寺観音堂と呼ばれる、浄土真宗大谷派の寺院。天平8(736)年に僧の泰澄が、都に流行した疫病除けの祈願を込めて刻んだと伝わる国宝十一面観音菩薩は、日本の観音像の代表作。

TEL 090-8938-6369
住所 長浜市高月町西野1696
時間 9:00~16:00(要予約、12:00~13:00は拝観不可)
定休日 無休
見学料金 薬師堂&千手観音500円
喫煙可否 禁煙

TEL 0749-85-2632
住所 長浜市高月町渡岸寺50
時間 9:00~16:00(入堂は~15:30)
定休日 無休
見学料金 500円
喫煙可否 禁煙



金勝山の頂上近くに静寂な佇まいを見せる天台宗の寺院。天平5(733)年、聖武天皇の勅願により、平城京の鬼門を守る国家鎮護の祈願寺として東大寺初代別当の良弁僧正が開基した。

『源氏物語』に登場する横川の僧のモデル恵心僧都が、平安時代に建立したお堂「浮御堂」。近江八景のひとつ堅田の落雁で知られる。正式には満月寺といい、境内の観音像には聖観音菩薩座像を安置。

TEL 077-558-2996(山上本坊)
077-558-0058(庫坊)
住所 栗東市寛保1394
時間 9:00~17:00(12~3月は~16:30)
定休日 無休 見学料金 500円
喫煙可否 禁煙 WEB https://www.konyoji.com

TEL 077-572-0455
住所 大津市本堂田1-16-18
時間 8:00~17:00
定休日 無休
見学料金 300円
喫煙可否 禁煙

英語パンフレット

THE SYNCRETISM OF SHINTO AND BUDDHISM

神仏習合の痕跡が残る場所

古来、日本には八百万の神というほど様々な日本独自の神様がいました。そして仏教伝来後、徐々に神と仏が融合していき、奈良時代(710-794)には、神社に対して仏教の経典を読み上げたり、神社内にお寺が建てられたりしましたが、明治時代(1868-1912)に「神仏分離」となり、神社内の仏教的なものを排除する「廃仏毀釈」も行われました。ところが滋賀県は、信仰心が強く神も仏も大切に思う気持ちからか、神仏習合の面影を残している例が多いといえます。そのひとつは、僧侶の風貌をした神の木造僧形八幡神坐像があることでも知られる「金勝寺」。金勝寺の本堂内では、小さな社に四神を祀り、平安時代から神のためにお経を唱えるように朝廷からいわれ、今も続いているといえます。

